

マネジメント学部長メッセージ —歴史の流れに目を向け、本格デジタル社会に備えましょう—

マネジメント学部長
丸岡吉人

マネジメント学部生の皆さん、そして、マネジメント研究科大学院生の皆さん、ごきげんよう。

オンライン遠隔授業が始まってしばらくたちました。そろそろ、慣れてきましたか。この授業方式に対する印象はひとりひとりで異なると思います。私はたとえば、オンライン遠隔授業は対面授業の代替でも劣化版でもなく、授業の未来だと見ています。まだまだ発展途上で改善が必要なことはもちろんですが、これから、そのように考える理由と皆さんが今何に取り組むべきかについて私の意見をご披露します。

社会はこれまで、徐々に、しかし着実にデジタル化してきました。約75年前に汎用コンピュータ（電子計算機と呼ばれていました）が生まれ、50年ほど前には最初のデジタルカメラが作られ、40年ほど前にインターネットが生まれました。SNSは約20年前、スマートフォンは15年ほど前に出現しました。そして今では、インターネットやモバイルデバイス、電子マネーやソーシャルメディアなどの各種のデジタルサービスや関連製品はなくてはならないものになっています。このような歴史の流れを認識すれば、大学教育の方法も、対面授業からデジタル技術を活用した新しい形態に変わっていくと考えることが自然です。

皆さんは、オンライン遠隔授業を通じて、本格デジタル時代の大学教育の始まりに立ち会っています。そして今後はひとりひとりが、デジタル社会を生き、デジタル社会をよりよくしていく責任を負います。だから早く必要な基礎を学ぶべきです。この機会にコンピュータ操作の基本、タイピングを身につけましょう。ブラインドタッチができれば本物です。レポート提出にも卒業論文執筆にも役立ちますから一石二鳥です。プログラミングやデータサイエンスを勉強したり、パソコンスキルの資格を取ったりすることもおすすめです。一度自転車に乗れるようになると、その後ずっとサイクリングを楽しめます。楽器の演奏を身につければ、交友関係が広がり人生が豊かになります。同じように、デジタル関連のスキルや知識は一生役立ち、人生を豊かにします。

未来から振りかえれば、2020年は社会のデジタル化が本格化した年として特徴づけられるはずです。事実、今コロナ感染症拡大がきっかけとなって社会のデジタル技術活用

が加速しています。ビジネスの分野でもデジタル技術を活用したリモートワークなどの新しい働き方が進展していますし、政府や自治体でも行政サービスのデジタル化が画期的に進むと見られています。さあ、オンライン授業受講をきっかけに、デジタル社会で活躍する準備を始めましょう。

将来皆さんは、きっと充実した人生を送っています。そして、2020年に、デジタル関連のスキルや知識を身に着け始めておいてよかった、と振り返っているはずです。